



Department of Dentistry and Oral Surgery
Keio University School of Medicine

慶應義塾大学医学部 歯科・口腔外科学教室 開設100周年記念誌



Department of Dentistry and Oral Surgery
Keio University School of Medicine

慶應義塾大学医学部

歯科・口腔外科学教室

開設100周年記念誌

慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室開設100周年記念誌 目次

ごあいさつ・祝辞

慶應義塾大学歯学部 歯科・口腔外科学教室 教授	中川 種昭	4
慶應義塾 常任理事	竹内 勤	5
慶應義塾大学 医学部長	天谷 雅行	6
慶應義塾大学病院 病院長	北川 雄光	7
同窓会副会長	朝波惣一郎	8

教室百年の沿革

1. 岡田満教授時代(大正9年～昭和32年)	10
2. 中村保夫教授時代(昭和35年～昭和53年)	11
3. 野本種邦教授時代(昭和53年～平成3年)	13
4. 名波智章教授時代(平成3年～平成12年)	14
5. 現在の臨床・教育・研究	16

寄稿

昭和23(1948)年入室	福岡 明	23
昭和31(1956)年入室	斎藤 季夫	26
	松本 圭司	27
昭和35(1960)年入室	須田 晃	29
昭和37(1962)年入室	酒泉 和夫	30
昭和41(1966)年入室	朝波惣一郎	32
昭和42(1967)年入室	松井 一成	35
昭和45(1970)年入室	永井 哲夫	36
昭和48(1973)年入室	逢坂 文博	39
昭和50(1975)年入室	藤居 正博	40
	米山 和伸	41
昭和51(1976)年入室	笠崎 安則	42
	藤野 雅美	43
昭和52(1977)年入室	池内 忍	44
	大泰司正嗣	45
昭和53(1978)年入室	久保田英朗	46
	和嶋 浩一	47
昭和54(1979)年入室	岡 伸二	49
	永野 伸一	50
昭和55(1980)年入室	柴 秀行	51
昭和56(1981)年入室	佐々木 朗	52
昭和57(1982)年入室	稲葉 孝夫	53
昭和58(1983)年入室	内田 育宏	54
昭和59(1984)年入室	内山 公男	55
	新谷 博明	56
昭和60(1985)年入室	木津 真庭	57
	斎藤 倫賢	58
昭和61(1986)年入室	小飼 英紀	59
	矢郷 香	60
昭和62(1987)年入室	川本 義明	61
	高森 康次	62

昭和63(1988)年入室	河奈 裕正	63
	後藤 隆治	64
	角田 博之	65
	中村 泰規	66
	穂坂 康朗	67
平成2(1990)年入室	三ツ木 浩	68
平成3(1991)年入室	鬼澤 勝弘	69
	清水 潤	70
平成4(1992)年入室	角田 和之	71
平成6(1994)年入室	鈴木 啓介	72
	武藤 幸夫	73
平成7(1995)年入室	筋生田 整治	74
平成8(1996)年入室	堀江 伸行	75
平成9(1997)年入室	村岡 渡	76
平成11(1999)年入室	片山 明彦	77
平成12(2000)年入室	安居 孝純	78
平成13(2001)年入室	岩崎良太郎	79
	柴山 拓郎	80
	矢嶋 幸弘	81
平成14(2002)年入室	加藤 伸	82
平成15(2003)年入室	森川 暁	83
平成16(2004)年入室	宮下 英高	84
平成17(2005)年入室	太田 淳也	85
平成18(2006)年入室	白田 頌	86
平成19(2007)年入室	吉武 桃子	87
平成21(2009)年入室	西須 大徳	88
	藤田 康平	89
	森田 麻友	90
平成22(2010)年入室	池浦 一裕	91
	軽部 健史	92
平成23(2011)年入室	黄地 健仁	93
平成24(2012)年入室	多木 陽子	94
平成25(2013)年入室	宮下 達郎	95
平成26(2014)年入室	宗像花楠子	96
平成27(2015)年入室	小沼 寛明	97
平成29(2017)年入室	小池 将人	98
平成31(2019)年入室	横田 智恒	99

研究業績

英語論文	100
日本語論文	111
競争的獲得資金	128
特 許	133

学位記

歯科・口腔外科教室 開設100周年記念講演	実行委員長 白田 頌	136
あとがき	同窓会副会長 酒泉 和夫	137

100年を越えていく

中川 種昭 慶應義塾大学歯学部
歯科・口腔外科学教室 教授



1858年、慶應義塾は福澤諭吉が蘭学塾として開き、1917年に福澤先生の遺志を継ぐ形で北里柴三郎を初代医学科長として医学部が始まった。その3年後の1920年病院開設とともに、歯科学教室の歴史が始まった。それから100年の月日が流れ、多くの先輩諸氏がこの教室に関わり、その発展に寄与していただいたことを思うと、教室の責任者としてその重みを改めて感じる。

医学部歯科口腔外科では、一般的に口腔外科治療を中心に行い、歯科治療は入院患者などごく限られた方に行う中、慶應義塾大学病院における歯科・口腔外科は、歯科治療から口腔外科治療までほぼ全ての治療をバランス良く行っており、全国でも唯一の診療科となっている。そのため、卒後研修施設としてもレベルの高い研修内容を誇っている。振り返ると、初代の岡田満教授が、開設と同時に、口腔衛生から一般歯科治療、歯槽膿漏、歯科矯正、口腔外科といった全ての内容を網羅してこの診療科をスタートしたことがその特徴となり、後輩たちが受け継いできたのであろう。歯科医療自体が専門化する現代において、このスタイルを継続することは容易ではないが、継続は力なりで是非後輩諸氏にもこの Only one を続けて行って欲しい。

教室の業務は、診療だけでなく、教育・研究も必要とされる。教育に関しては、将来医師になる学生に口腔の健康が全身の健康に大きく関わることを伝えるために努力を続けている。研究においては、2005年に大学院研究科を設置していただき、教室に大学院生を迎え、学位を取得できるようになったことは大きな一歩となった。真の意味での教室初の大仕事は道半ばであるが、その素地は100年通過時点でできあがりつつある。これも100年を越えて今の我々が努力し、未来の後輩につなげていきたい。

“慶應義塾に歯科あり”を胸に秘め教室運営を行っている。2年後に歯学部ができようとしている中、医学部歯科・口腔外科の存在価値をどのように高めていけるか、次の100年へ向けて私たちの進化はまだまだ続く。

慶應義塾大学医学部 歯科・口腔外科学教室
開設100周年記念誌

発行日：2021年6月11日

発行者：慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室・慶歯会

編集委員：中川 種昭，角田 和之，堀江 伸行，加藤 伸
森川 暁，宮下 英高

発行所：慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室
〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
TEL：03-3353-1211（内線62484）
FAX：03-3357-1593

出版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<https://www.secand.jp/>



Department of
Dentistry and Oral Surgery
Keio University School of Medicine

慶應義塾大学医学部
歯科・口腔外科学教室同窓会